

製品名: Raf1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03293**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.67mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 73 kDa; Observed MW: 73 kDa

抗原情報

遺伝子名	RAF1
別名	RAF1; RAF; RAF proto-oncogene serine/threonine-protein kinase; Proto-oncogene c-RAF; cRaf; Raf-1
遺伝子 ID	5894
SwissProt ID	P04049
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

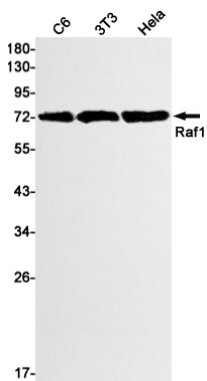
背景

Raf-1 は MAP キナーゼキナーゼキナーゼ (MAP3K) であり、膜結合型 GTPase である Ras ファミリーの下流で機能し、Ras ファミリーに直接結合します。活性化された Raf-1 はリン酸化され、二重特異性タンパク質キナーゼである MEK1 および MEK2 を活性化します。MEK1 および MEK2 は、さらにリン酸化され、セリン/スレオニン特異的タンパク質キナーゼである ERK1 および ERK2 を活性化します。

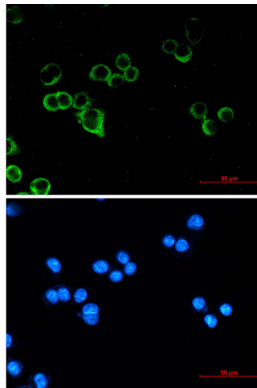
研究分野

シグナル伝達

画像データ



Raf1 抗体を使用した C6、3T3、HeLa 溶解物中の Raf1 のウェスタンブロット分析。



MCF-7 における Raf1 (緑) の Raf1 抗体および DAPI (青) を用いた免疫細胞化学分析